

# 第 11 回京都府次世代自動車普及推進協議会 議 事 要 旨

- 1 日 時 平成23年7月28日(木) 午後3時00分～午後5時20分
- 2 場 所 京都府公館 レセプションホール
- 3 出席者 委 員: メーカー、電力会社、経済団体、学識経験者等 24名  
京都府: 石野環境政策監 他 ※別添のとおり

## 4 議 事

### (1) 京都府内におけるEV・PHV普及に向けた取組事例

◆京都府次世代自動車パートナーシップ倶楽部の概要説明

◆京都府内におけるEV・PHV普及に向けた取組事例

京都府次世代自動車パートナーシップ倶楽部各WGの取組事例を報告

- ① 観光WG (EV タクシー・レンタカーによる京都観光パッケージの開発を通じた EV 及び充電インフラの普及促進) (幹事: 兼松(株))
- ② 充電インフラ情報提供WG (幹事: 日本ユニシス(株))
- ③ 系統から独立した充電インフラ実証WG (幹事: (株)キャプテックス)
- ④ 災害対応型EV急速充電付きECOエネルギーステーションの検討WG (幹事: 日新電機(株))
- ⑤ EV向け移動急速充電車の開発及びその運用WG (幹事: (株)三輪タイヤ)
- ⑥ 京都コンバートEV WG (幹事: 常陸オート(株)亀岡支店)
- ⑦ EV・PHV整備人材育成WG (幹事: (社)京都府自動車整備振興会)
- ⑧ 京都電気自動車開発WG (幹事: グリーンロードモーターズ(株))

### (2) 京都府からの報告

今年度、府が実施しているEV・PHV普及の取り組みについて概要説明

- ◆「京都EVエコドライブラリー」
- ◆府内の充電インフラ整備状況
- ◆府の補助制度

### (3) 意見交換等

(主な意見)

- EVの普及促進については、国が中心となって行う必要がある。東南アジアではガソリン車に先行してEVが普及する可能性もあり、日本でも、EV普及に向けた様々なモデル事業を行う場合にスピード感が必要で、さらには実質的に民間事業者が実施するレベルで行わねばならない。
- 京都で実施しているEV普及についての取り組みをひとつのパッケージにし、東日本大震災の復興に際し東北地方で展開する等、京都での活動成果を被災地と共有すべき。
- 今後は開発途上国でのEV普及が拡大することが見込まれることから、開発途上国からの留学生のインターンシップ受け入れ等、企業での取り組みを積極的に推進すべき。
- 東日本大震災を受け、EVが単なる移動手段ではなく、EVからEVへ、EVから家庭へといったような電力供給を行えるものとなっていくべき。